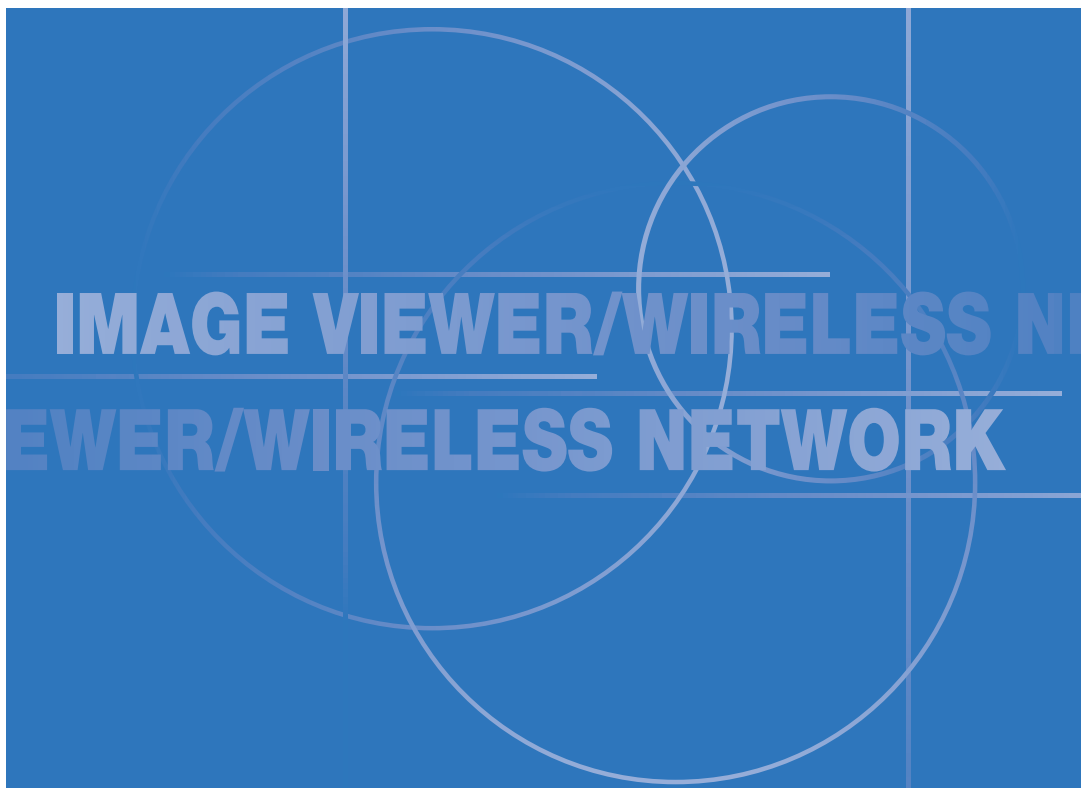


KG-PS125X 取扱説明書

イメージビューワ・ワイヤレスネットワーク編



- ・ Microsoft®、Windows®、PowerPoint®、MS-DOS® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の商標および登録商標です。
- ・ Pentium は Intel Corporation の登録商標です。

■ 下記のことをあらかじめご了承ください。

- 本機の使用または故障により生じた直接・間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機によるデータの破損につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

はじめに

イメージビューワ・ワイヤレスネットワーク編はプロジェクタ KG-PS125X のイメージビューワ機能とワイヤレスネットワーク機能を説明しています。その他のプロジェクタに関する説明は取扱説明書プロジェクタ編をご覧ください。

本編に記載されている説明内容は下記の機能です。

イメージビューワ機能

SD メモリカードおよび USB メモリに画像データを保存することで、その場にパソコンがなくてもプロジェクタ単独でプレゼンテーションが行える機能です。

ワイヤレスネットワークプレゼンテーション機能

無線 LAN 技術を使用して、パソコンで開いているドキュメントの画面をそのままケーブルレスでプロジェクタへ転送してプレゼンテーションが行える機能です。

●リモコンについて

本機の操作説明はリモコン操作で説明しております。

イメージビューワ機能・ワイヤレスネットワーク機能の一部は本体ボタンでは操作できません。

リモコンをなくさないようにご注意ください。

●本体ボタンについて

- イメージビューワ・ワイヤレスネットワーク機能をご使用する際に、使用できる本体ボタンは SELECT (▲▼) ボタン、ENTER ⊕ ボタンのみです。
- イメージビューワ・ワイヤレスネットワーク機能をご使用している場合、次の操作は本体ボタンでは行えません。リモコンで操作してください。
 - ① ネットワーク設定の変更
 - ② キーストーンの調整

目次

はじめに	2
目次	3
無線 LAN カード使用上のご注意	4
はじめてお使いになるときの準備	6
付属ソフトウェアのインストールとセットアップ ...	7
パソコンの動作条件	7
パソコンにインストールされるソフトウェア	7
使用許諾契約	8
TAXAN Wireless Presenter の	
インストール	10
TAXAN Wireless Presenter の	
アンインストール	12
SD カードおよび USB メモリのセット ...	14
SD カードのセットと取り出し	14
USB メモリのセット	15
イメージビューワ機能を使う ...	16
プレゼンテーションの操作手順	17
スライドの作成	18
スライドの作成ガイド	18
イメージビューワ操作のしかた	19
イメージビューワ画面各部の	
名称とはたらき	19
ModeSelect 画面	19
サムネイル表示画面	19
ディレクトリ表示画面	20
サムネイル表示操作のしかた	20
ディレクトリ操作のしかた	22
スライドを操作する	23
スライドの表示について	23
スライドの移動	23
スライドの終了	23
イメージビューワを終了する	24
ビューワ設定のしかた	24

ネットワーク機能を使う ... 26

ネットワークプレゼンテーションの	
操作手順	27
プロジェクト側のネットワーク設定	28
設定画面の項目選択と文字入力 of のしかた	28
ネットワーク設定の項目と選択	29

ネットワークパスワードの登録と解除	30
ネットワークパスワードの登録	30
ネットワークパスワード解除のしかた	31
無線 LAN によるプロジェクタ接続のための	
パソコン側の設定	32
Windows XP パソコンのネットワーク設定	32
Windows XP の無線 LAN 設定項目を	
使用する	32
TAXAN Wireless Presenter	
操作のしかた	35
TAXAN Wireless Presenter 画面	
各部の名称とはたらき	35
基本画面	35
Setting 画面	35
Display 画面	36
Configuration 画面	36
ネットワークプレゼンテーションの開始と操作	
.....	36
プレゼンテーションを開始する	37
プレゼンテーションを終了する	37
TAXAN Wireless Presenter の設定	38
投写画質を設定する	38
投写するパソコンの台数を設定する	38
TAXAN Wireless Presenter の	
CPU シェアを設定する	39
ブラウザを使用した無線 LAN 設定	40
プロジェクタと Web 接続する	40
各設定の名称と役割	41
仕様	42
無線 LAN カードの仕様	42
USB インターフェース規格	42
トラブルシューティング	42
用語解説	43

無線 LAN カード使用上のご注意

■無線 LAN カードで使用时におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をさせてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

■周波数に関する使用上のご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）で使用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が使用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は、電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のために処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記連絡先へお問い合わせください。

加賀コンポーネント・プロジェクト
カスタマーセンター
TEL ☎ 0120-331-059

無線 LAN カード取扱上のご注意

無線 LAN カードを使用する場合、無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容を十分理解してご使用ください。

●他の無線機器の近くで使用しないでください。

下記の機器は、無線 LAN カードと同じ帯域の電波を使用している可能性があります。これらの近くで無線 LAN カードを使用すると、電波の干渉により通信できなくなったり、通信速度が遅くなったりする場合があります。

- ・電子レンジなど
- ・産業・科学・医療用機器など
- ・工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局
- ・特定小電力無線局

●無線 LAN カードの近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

携帯電話・テレビ・ラジオなどは、無線 LAN カードと違う帯域の電波を使用しておりますので、無線 LAN カードの通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、無線 LAN カードからの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

●鉄筋・金属・コンクリートなどは、無線 LAN カードの電波を通しません。

木材やガラス（金属メッシュ入りガラスを除く）などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

●使用用途について

当 SD 無線 LAN カードは、一般オフィスや家庭の OA ないしホビー用途の製品として設計されていますので、一般機器より高い信頼性が要求される用途や、医療機器のような極めて高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

●ご使用上の注意

- (1) 万一、当 SD 無線 LAN カードから異常な発熱や発煙・異臭等が生じた場合は必ずパソコン等より取り出し、その状態のまま使用しないでください。
- (2) 電氣的・機械的特性を変更してしうすること（改造すること等）は絶対に行わないでください。
- (3) 当 SD 無線 LAN カードは、落として強い衝撃を与えないようにご注意ください。
- (4) 当 SD 無線 LAN カードは、曲がりなどの過度のストレスがかからないよう取り扱いにご注意ください。

●SD 無線 LAN カードは乳幼児の手の届くところに置かないでください。

誤って飲み込む恐れがあります。
万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

●使用できるチャンネルについて

2.4GHz の電波を使用しますが、国や地域によって、使用できるチャンネル（実際の周波数範囲を複数に分けたもの）は異なります。本製品では、同梱された SD 無線 LAN カード（IEEE802.11b / g）との組み合わせにより、国、地域によって使用可能なチャンネルを下表でご確認ください。その他の国については販売店にご相談ください。

国や地域	使用可能なチャンネル
日本	1 ～ 11
アメリカ	1 ～ 11
カナダ	1 ～ 11
台湾	1 ～ 11
イギリス、スペイン、ドイツ、イタリア、オーストリア、 スイス、ベルギー、スウェーデン、オランダ、ポルトガル、 デンマーク、フランス、フィンランド、ギリシャ、 ノルウェー	1 ～ 11

はじめてお使いになるときの準備

イメージビューワ機能、ワイヤレスネットワーク機能をお使いになるには次の準備が必要です。

イメージビューワ機能をお使いの場合

SD メモリカードをお使いの場合

記録媒体	市販の SD メモリカード規格準拠の SD メモリカード（※詳しくは 18 ページ をご覧ください。）
パソコン側	SD カードスロットまたは PC カードスロット（SD カードアダプタが必要）が必要です。 （カードスロットが装着されていない場合は市販の USB カード リライターをお使いください。）

USB メモリをお使いの場合

記録媒体	市販の USB1.1 規格準拠の USB メモリ
パソコン側	USB1.1 規格に準拠した USB ポートが必要です。

ネットワークプレゼンテーション機能をお使いの場合

プロジェクタ側	プロジェクタに付属の SD 無線 LAN カード（本機のプロジェクタ専用です。）
パソコン側 （ハードウェア）	プロジェクタと単独で画像転送する（アドホック通信）には IEEE802.11b/g に準拠した無線 LAN カード（もしくは無線 LAN 内蔵パソコン）が必要です。 また、有線 LAN に接続しているパソコンからプロジェクタに画像転送する場合は（インフラストラクチャ通信）無線アクセスポイントが必要です（LAN 管理者にお尋ねください）。
パソコン側 （ソフトウェア）	プロジェクタに添付の TAXAN Wireless Presenter をインストールしてください。 ・インストールのしかたは 7 ページ をご覧ください。 ネットワーク設定変更機能を使う場合は、Web ブラウザ（Internet Explorer 6.0 またはそれ以降のバージョン）が必要です。

お知らせ

プロジェクタの SD 無線 LAN カードと接続可能なパソコン側の無線 LAN およびアクセスポイントは Wi-Fi に準拠した製品と接続してください。（Wi-Fi：無線 LAN の推進・相互運用性を保証するための団体）

付属ソフトウェアのインストールとセットアップ

無線 LAN 機能を使ってパソコンからプロジェクタに画像を無線で転送してプレゼンテーションなどを行う場合には、付属の TAXAN Wireless Presenter のインストールが必要です。この機能を使わない場合（イメージビューワ機能のみ使用）はインストールの必要はありません。

パソコンの動作条件

付属のソフトウェアを動作させるには以下の条件を満たすパソコンが必要です。

PC アプリケーションの動作環境	OS : Windows XP Home Edition / Professional Windows 2000 Professional Service Pack 4 CPU : Pentium III 600MHz 以上 メモリサイズ : 128M バイト以上 (Windows 2000 の場合) 256M バイト以上 (Windows XP の場合) グラフィック I/F : DirectX7.0 以上 ビデオ RAM : 8MB 必要 (16MB 推奨) HDD : 10MB CD-ROM ドライブ Web ブラウザ : Internet Explorer 6.0 またはそれ以降のバージョン
ネットワーク環境	無線 LAN (IEEE 802.11b/g) (AD-HOC モードおよび INFRASTRUCTURE モード)
対応プロトコル	TCP/IP、DHCP クライアント、HTTP サーバー
制御ソフトウェア	専用の PC アプリケーションおよび Web ブラウザ
セキュリティ	WEP (64/128bit)、SSID
ファイル形式	JPEG、PNG、BMP
ワイヤレスネットワークカード	C-guys SD-Link 11g
周辺機器	CD-ROM ドライブ (添付ソフトウェアのインストールに必要)

お知らせ

上記の動作条件以外で使用された場合、および自作パソコンで使用された場合の動作保証は一切いたしません。
また、上記の動作条件を満たす全てのパソコンについて動作保証するものではありません。

パソコンにインストールされるソフトウェア

- TAXAN Wireless Presenter
パソコン画像無線転送ユーティリティ

ご注意

- [TAXAN WirelessPresenter] は付録のソフトウェア（無償）です。このバージョンのみ、無期限に使用できますが、いかなる保証もいたしません。あらかじめご了承ください。

使用許諾契約

《添付ソフトウェアをインストールする前に必ずお読みください》

ソフトウェア製品：加賀コンポーネント株式会社ドライバ及び関連アプリケーション 加賀コンポーネント株式会社製品のソフトウェア使用許諾契約書

次の重要事項をお読みください： 本加賀コンポーネント株式会社ソフトウェア使用許諾契約書（以下「SLA」という）は、上記に示す加賀コンポーネント株式会社ソフトウェア製品（コンピュータソフトウェア、関連メディア及び印刷物、並びに「オンライン」ないし電子文書を含むものとし、以下「ソフトウェア製品」又は「ソフトウェア」という）に関する、お客様（個人又は団体）と加賀コンポーネント株式会社との契約です。「ソフトウェア製品」をインストール、コピー、あるいは使用することにより、お客様は本 SLA の条項に同意されたものとみなされます。

ソフトウェア製品の使用許諾

「ソフトウェア製品」は著作権法及び国際条約、並びに知的所有権に関するその他の法律及び条約により保護されています。「ソフトウェア製品」は使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。

使用許諾

本 SLA はお客様に対し、コンピュータ及びその関連ハードウェア製品上で、「ソフトウェア」のコピーを 1 つに限り、インストール、使用、アクセス、実行、又はその他の方法で操作する権利を付与します。「ソフトウェア製品」を、ワークステーション、端末機、その他のデジタル機器を含め、異なるコンピュータ上で同時にインストール、アクセス、表示、実行、共有、又は使用することはできません。

その他の権利と制限

- (a) お客様が「ソフトウェア製品」を変更、リバースエンジニアリング、デコンパイル、又は分解することは禁じられています。
- (b) 「ソフトウェア製品」は単一製品として使用許諾されます。その構成部品を分離して使用することはできません。
- (c) お客様が「ソフトウェア製品」を第三者に使用許諾、賃貸、又はリースすることは禁じられています。
- (d) 本 SLA の他の規定にかかわらず、お客様は、同一会社内又は同一事務所に所属する者（以下、「社内使用者」という）に対して、加賀コンポーネント株式会社製品を使用することが必要となる限度において、「ソフトウェア製品」を複製させ、使用させることができます。この場合、社内使用者は「ソフトウェア製品」を加賀コンポーネント株式会社製品のためだけに使用するものとし、お客様は、社内使用者がかかる義務やその他本 SLA に定める義務を遵守させることに合意します。また、当該複製に際して、「ソフトウェア製品」に何らの変更も加えないことを条件とします。

使用許諾の終了

お客様が本 SLA の契約条項に違反した場合、加賀コンポーネント株式会社は、本 SLA を終了させることができ、さらに、その他の権利を行使することができます。なお、加賀コンポーネント株式会社が本 SLA を終了させる場合、お客様は「ソフトウェア製品」及びその構成部品の全ての複製物（社内使用者分を含む）を廃棄しなければなりません。

著作権

「ソフトウェア製品」に関する著作権、知的所有権及びその他の価値ある権利を含む全ての権利（「ソフトウェア製品」に組み込まれている画像、写真、動画、ビデオ、オーディオ、音楽、テキスト、及び「アプレット」を含むが、これらに限定されない）、付属の印刷物に関する権利、並びに「ソフトウェア製品」の複製物に関する権利は全て、加賀コンポーネント株式会社又はその供給者が所有します。「ソフトウェア製品」は著作権法及び国際条約により保護されています。従って、お客様は「ソフトウェア製品」をその他の著作権物と同様に扱う必要があります。お客様が「ソフトウェア」の複製を作成することや「ソフトウェア」に付属の印刷物の複製を作成することはできません。なお、お客様が「ソフトウェア」の複製を作成することが許容された場合、お客様は当該複製物に、弊社及びその供給者の著作権を表示するものとします。

限定保証

加賀コンポーネント株式会社は、「ソフトウェア製品」が、製品搬入後 90 日間、付属の文書に記載される通り実質上動作することを保証します。なお、当該限定保証は、「ソフトウェア製品」の複製物には適用されません。

賠償責任

「ソフトウェア製品」が上記に定める限定保証に適合しない場合、加賀コンポーネント株式会社（製品供給者を含む）は、その判断に従い、当該「ソフトウェア製品」の修理又は交換を行うものとし、それを超える責任は一切負いません。加賀コンポーネント株式会社は、「ソフトウェア製品」を含む加賀コンポーネント株式会社製品の領収書の提示を受けた場合にのみ、当該修理又は交換を行うものとし、「ソフトウェア製品」の不具合が、事故、乱用、誤用又は改変が原因である場合、当社の保証は適用されません。なお、「ソフトウェア製品」が交換された場合、その保証期間は、交換前の製品に関する保証期間の残存期間又は 30 日のうち、いずれか長い方とします。

保証の制限

当該法律で許可される最大範囲内において、加賀コンポーネント株式会社（製品供給者を含む）は、「ソフトウェア製品」とその付属ハードウェアに関して、明示的又は黙示的な保証責任を一切負わず、従って、特定目的についての適合性及び商品性に対する保証責任も、法律上の瑕疵担保責任も一切負いません。

賠償責任の制限

当該法律で許可される最大範囲内において、加賀コンポーネント株式会社（製品供給者を含む）は、いかなる場合においても、「ソフトウェア製品」又はその付属ハードウェアの使用又は使用不能に起因する、直接的、特別、偶発的、間接的、必然的、又は懲罰的損害（逸失利益、営業の中断、ビジネス情報の喪失、又はその他の金銭上の損害を含むが、これらに限定されない）に関して、一切責任を負わないものとします。これは、加賀コンポーネント株式会社（製品製造者を含む）が当該損害の可能性について知られていた場合であっても同様です。なお、かかる制限条項が何らかの理由により執行不能であり、かつ、加賀コンポーネント株式会社がお客様による「ソフトウェア」の使用に関して責任（契約、不法行為、厳格責任等に基いて生じた事項に関する責任）を負う場合、加賀コンポーネント株式会社のお客様に対する賠償責任の総額は、お客様が当該「ソフトウェア製品」を含む加賀コンポーネント株式会社製品に対して支払われた金額の 10% を超えないものとします。

TAXAN Wireless Presenter のインストール

- 操作は Windows XP で説明しています。

●インストールの前のご確認

1. 使用するパソコンが動作条件を満たしていますか。→ [7 ページ](#)
2. 実行中の他のアプリケーションをすべて終了します。

【ご注意】

INDEX 画面について

TAXAN Wireless Presenter は Windows 2000/Windows XP 専用です。Macintosh などには対応していません。Macintosh で INDEX 画面 (PDF) を開いている場合、イメージビューワ・ワイヤレスネットワーク編の取扱説明書のみ見ることができます (“ソフトウェアのインストール” ボタンはありません)。

1. インストーラを開く

- 取扱説明書「イメージビューワ・ワイヤレスネットワーク編」の CD-ROM からインストーラを開きます。

- ① KG-PS125X 取扱説明書 イメージビューワ・ワイヤレスネットワーク編の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。“Index” 画面が自動で開きます。
- ② “Index” 画面の “Software Installation” をクリックしてください。インストーラ画面が開きます。インストーラ画面はそのままにして、Exit をクリックして終了してください。

※ Index 画面が自動で開かない場合

- ① KG-PS125X 取扱説明書 イメージビューワ・ワイヤレスネットワーク編の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。
 - ② CD-ROM “START” をダブルクリックすると “Index” 画面が開きます。上記 ② の操作を行ってください。
- ※ Windows Explorer を使う場合は、CD-ROM ドライブを選択し、Software フォルダ内の「Setup.exe」をダブルクリックするとインストーラ画面が開きます。

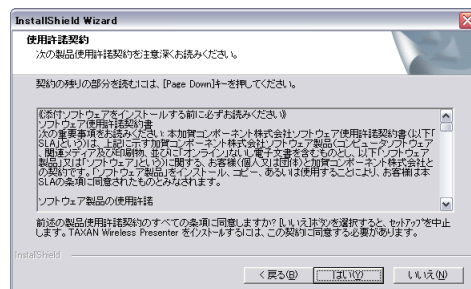


Exit

2. InstallShield ウィザードの指示に従ってインストールを行います。

[次へ (N)] をクリックすると使用許諾契約に切り替わります。内容を良くお読みください。

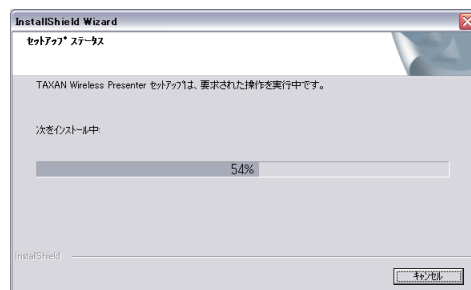
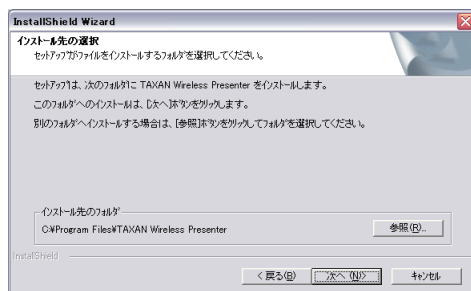
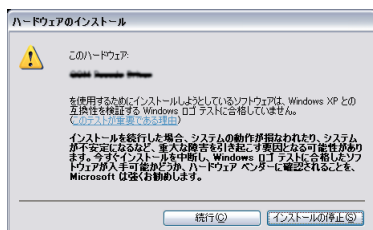
同意する場合は [はい (Y)] をクリックします。



3. [プログラムファイル] フォルダ内の規定のフォルダにインストールされます。

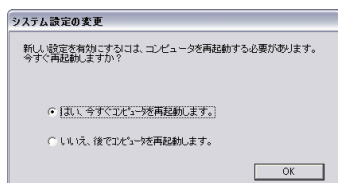
別のディレクトリにインストールする場合は、この画面の時点で [参照] をクリックしインストール先を指定します。

※ご使用のパソコンの環境により下記のメッセージが表示される場合があります。
このときは [続行] をクリックしてください。

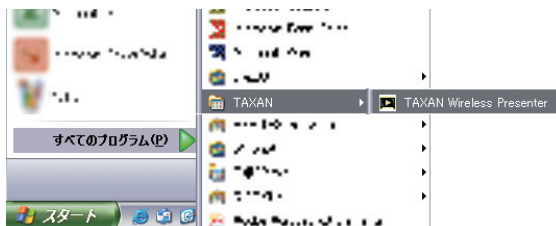


4. TAXAN Wireless Presenter のインストールが完了しました。

※ご使用のパソコンの環境によりパソコンの再起動を確認する画面が表示される場合があります。
このときは画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。



5. [スタート] メニューより [すべてのプログラム (P)] に [TAXAN] → [TAXAN Wireless Presenter] がインストールされていることを確認してください。



TAXAN Wireless Presenter のアンインストール

- 操作は Windows XP で説明しています。

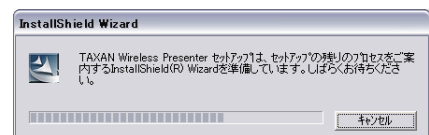
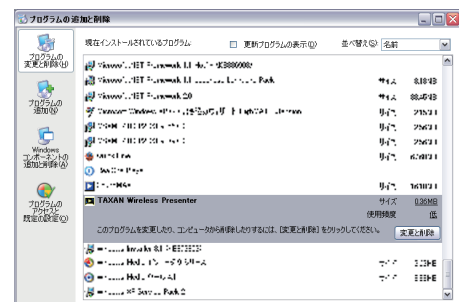
1. [スタート] メニュー → [コントロールパネル] を開きます。



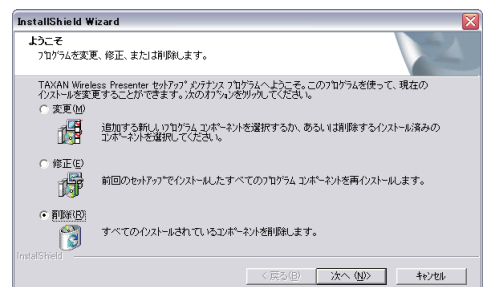
2. [プログラムの追加と削除] をクリックして開きます。



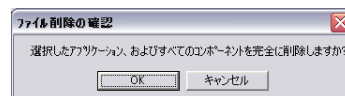
3. [TAXAN Wireless Presenter] を選択し [変更と削除] ボタンをクリックしてください。



4. [プログラムの変更と削除] 画面が表示されます。[削除 (R)] を選択し [次へ (N)] をクリックします。



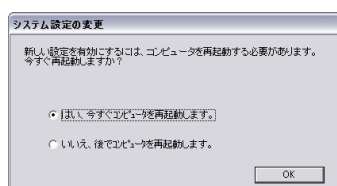
5. [ファイル削除の確認] が表示されますので、
[OK] ボタンをクリックしてください。



6. TAXAN Wireless Presenter のアンインストールを開始し、プログラムがアンインストールされます。



※ご使用のパソコンの環境によりパソコンの再起動を確認する画面が表示される場合があります。
このときは画面の指示に従ってパソコンを再起動してください、



これで、プログラムのアンインストールは完了しました。

SDカードおよび USB メモリのセット

本体の SD カードスロットは、SD 無線 LAN カードまたは SD メモリカードをセットする場合に使用し、イメージビューワ機能またはワイヤレスネットワーク機能のどちらか 1 つの機能が使用できます。

SD メモリカード …… イメージビューワ機能を使うときのスライド（プレゼンテーション資料）を記録するカードです（市販品）。

SD 無線 LAN カード …… ワイヤレスネットワーク機能を使うときの無線装置です（本体に付属、プロジェクタ専用）。

【ご注意】

- SD 無線 LAN カードのセットおよび取り出しは、必ずプロジェクタの電源を切ってから行ってください。
- SD 無線 LAN カードは本機に添付されているもの以外はプロジェクタにセットしないでください。
- 本機を移動するとき、収納ケースに収納するときは必ず SD 無線 LAN カードおよび USB メモリを抜いてください。
- SD カードおよび USB メモリを挿入する向きについて

カードには挿入する向きが決まっています。逆に挿入しようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込むと機器の破損の原因となります。挿入する向きは、カードの説明書があれば、そちらをご覧ください。

SD カードのセットと取り出し

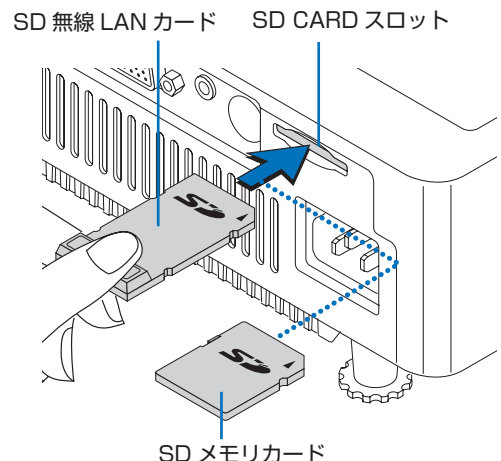
● SD カードのセット

SD 無線 LAN カードの場合

1. 本体の電源を切ります。
2. 表面を上にしてゆっくり奥まで差し込みます。
完全に差し込まれると、“カチッ”と音がしてロックされます。

SD メモリカードの場合

1. 表面を上にしてゆっくり奥まで差し込みます。
完全に差し込まれると、“カチッ”と音がしてロックされます。



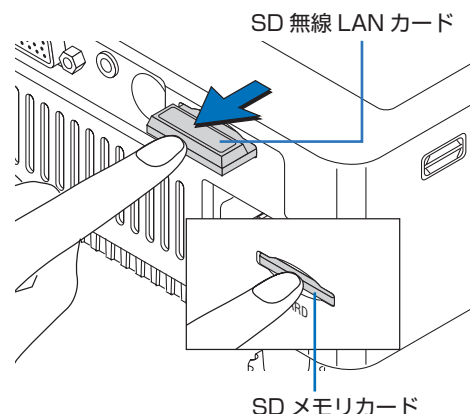
● SD カードの取り出し

SD 無線 LAN カードの場合

1. 本体の電源を切ります。
2. SD 無線 LAN カードを押すと“カチッ”と音がしてロックが解除されカードが少し飛び出しますので、カードの両端を持って取り出します。

SD メモリカードの場合

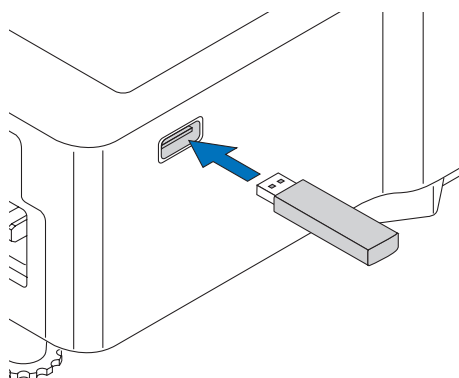
1. SD カードを押すと“カチッ”と音がしてロックが解除されカードが少し飛び出しますので、カードの両端を持って取り出します。



USB メモリのセット

イメージビューワ機能を使うときの画像を記録する USB 対応のメモリです（市販品）。

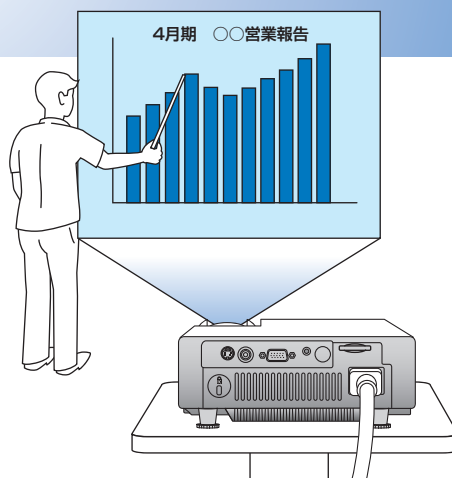
USB メモリを本機の USB ポートにゆっくり奥まで差し込みます。



イメージビューワ機能を使う

イメージビューワは、パソコンで作成したプレゼンテーション資料を SD メモリカードまたは USB メモリに保存し、プロジェクタで映し出す機能です。その場にパソコンがなくてもプロジェクタ単独でプレゼンテーションを行えます。

(SD メモリカードまたは USB メモリに保存したプレゼンテーション画像をスライドといいます。)



お知らせ

- イメージビューワ機能の操作はリモコンで行ってください。

- パソコンを持ち運ばなくても SD メモリカードまたは USB メモリにスライドを保存しておけば OK。
- 店頭での使用に便利な自動スライド再生・リピート機能。
- 目的のスライドを探るとき、縮小画像（サムネイル表示モード・ディレクトリ表示モード）の中から選んでワンタッチ表示。
- デジタルカメラで撮影した SD メモリカードも再生可能。
(JPEG, BMP, PNG のみ)

■イメージビューワで使用する用語

- スライド…………… 画像ファイルの集まりをスライドといいます。
- フォルダ…………… スライドをまとめて入れている箱をフォルダといいます。さらにフォルダをまとめて入れている箱を親フォルダ（上位フォルダ）と呼んで、フォルダを区別するときもあります。
- イメージビューワ画面…… ビューワ入力に切り替えた画面をイメージビューワ画面といいます。
- リムーバブルメディア…… SD メモリカードまたは USB メモリのことです。

プレゼンテーションの操作手順

イメージビューワ機能を使ったプレゼンテーションは次の順序で行います。

1 パソコンでプレゼンテーション画像を作成し、リムーバブルメディアに保存する ➔ [18 ページ](#)

- SD メモリカードをパソコンの SD カードスロットに差し込みます。SD カードスロットがない場合は、市販品の SD カードアダプタが必要です。
- 市販品の USB 対応の SD メモリカードリーダー/ライターを使用するとパソコンの USB ポートから SD メモリカードにプレゼンテーション画像（スライド）の記録ができます。

2 本体の SD カードスロットに SD メモリカードをセットするか、USB 端子に USB メモリをセットする ➔ [14 ページ](#)

3 プロジェクタの電源が切れているときは、電源を入れる

本体またはリモコンの POWER/STANDBY ボタンを押します。詳しくは取扱説明書プロジェクタ編をご覧ください。

4 ビューワ入力を選択する

本体では SOURCE ボタンを押し、リモコンでは VIEWER ボタン押してビューワを選択します。

詳しくは取扱説明書プロジェクタ編をご覧ください。

セットされたリムーバブルメディアを認識するまでに 10 ～ 20 秒かかる場合があります。

5 プレゼンテーションを行う ➔ [19 ページ](#) 「イメージビューワ操作のしかた」

6 プレゼンテーションを終了する ➔ [24 ページ](#) 「イメージビューワを終了する」

スライドの作成

スライドの作成ガイド

1. スライドをパソコンで作成し画像ファイルに変換してください。

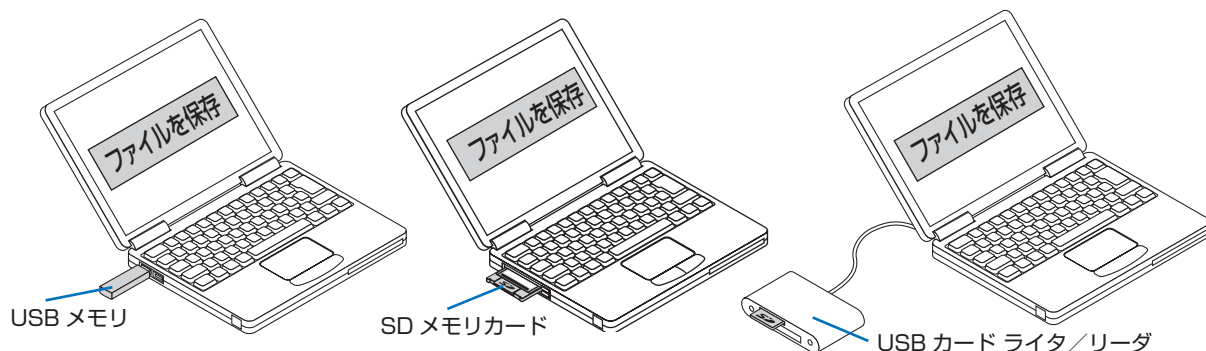


●作成上の制限事項

- ・ 投写する画像は JPEG、BMP、PNG フォーマット形式に変換して、1 つのフォルダに入れてください。
- ・ スライドの投写する順序がある場合は、昇順のファイル名にしてください。ビューは 0 → 9 → A → Z の順に表示します。
- ・ ファイル名には長いファイル名も使用できますが、日本語および英数字のみ正しく表示されます。
- ・ 高解像度の画像は本機の表示解像度以下に変換されて表示します。また、高解像度の画像は表示に時間がかかる場合があります。
- ・ PowerPoint ファイルを投写する場合は、JPEG、BMP、PNG フォーマット形式に変換してフォルダに入れてください。(アニメーション効果は再生できません)
- ・ データ量の多い画像ファイルはプレゼンテーション表示開始までに時間がかかります。

2. リムーバブルメディアに画像ファイルを保存してください。

パソコンに PC カードドライブが装着されている場合は、市販品の SD カードアダプタをお使いください。
装着されていない場合は市販の USB カードライター/リーダーや USB メモリなどをお使いください。



■本機で対応する SD メモリカードとデータフォーマット

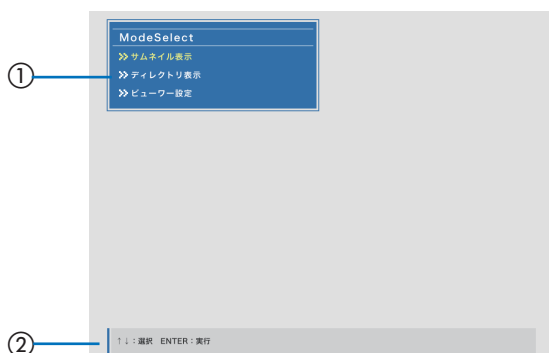
- 本機で使用できる SD メモリカードは「SD メモリカード規格準拠」で標準の 2GB までの SD メモリカードです。
- SDHC (2GB を超えるもの) の SD メモリカードはサポートしておりません。
- 本機で再生できる画像データは MS-DOS フォーマット形式の JPEG、BMP、PNG です。
 - * JPEG のプログレッシブは再生されません。
 - * JPEG フォーマットで一部再生できないものがあります。その場合は、画像形式を変換してください。
 - * BMP のファイルは、1/4/8/24 ビット以外の形式は再生されません。
- ファイルサイズが大きい場合には、本機で表示できないことがあります。

イメージビューワ操作のしかた

SD メモリカードをプロジェクトの SD スロットにセットするか、または USB 端子に USB フラッシュメモリをセットし、リモコンの VIEWER ボタンを押してビューワを選択してください。ModeSelect（モードセレクト）画面が表示されます。（リムーバルメディアを認識するまでに数十秒かかる場合があります。）
目的のスライドを選択する「サムネイル表示画面」と、フォルダ階層にしたがって目的のスライドを選択する「ディレクトリ表示画面」の二つのモードをご使用いただけます。

イメージビューワ画面各部の名称とはたらき

■ ModeSelect（モードセレクト）画面

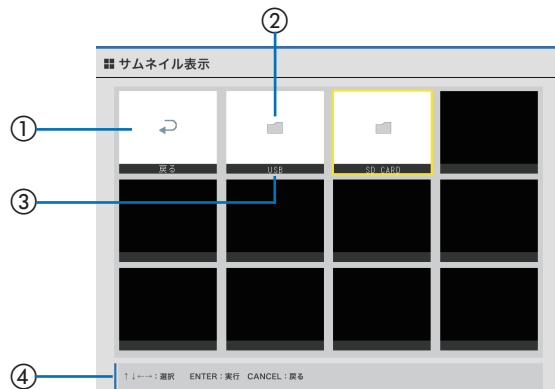


- ① ModeSelect メニュー : イメージビューワ画面の選択およびビューワ設定を選択するメインメニューです。
- ② メニューガイド : 各画面における操作方法を表示します。

■ サムネイル表示画面

（操作方法に関しては → 20 ページ）

リムーバルメディア表示中



- ① “戻る”アイコン : 親フォルダに戻ります。
- ② “フォルダ”アイコン : リムーバルメディアおよびフォルダのアイコン表示です。
- ③ 情報 : リムーバルメディア、フォルダ、スライドの名称および拡張子を表示します。
- ④ メニューガイド : 各画面における操作方法を表示します。

リムーバルメディア内フォルダ、スライド表示中



- ⑤ サムネイル : スライド画像のサムネイルを表示します。

■ディレクトリ表示画面

(操作方法に関しては ➔ 22 ページ)

リムーバルメディア表示中



リムーバルメディア内フォルダ、スライド表示中



- ① “戻る” アイコン : 親フォルダに戻ります。
- ② “フォルダ” アイコン : リムーバルメディアおよびフォルダのアイコン表示です。
- ③ 情報 : リムーバルメディア、フォルダ、スライドの名称および拡張子を表示します。
- ④ メニューガイド : 各画面における操作方法を表示します。
- ⑤ “スライド” アイコン : スライドのアイコン表示です。
- ⑥ サムネイル : 選択しているスライドのサムネイルを表示します。
- ⑦ スライド情報 : 選択しているスライドの情報を表示します。

サムネイル表示操作のしかた

1. リモコンの VIEWER ボタンを押してイメージビューフ画面に切り替える。

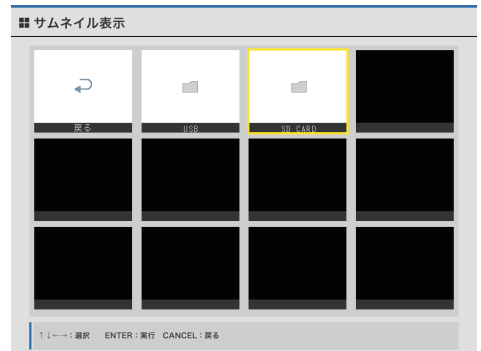
2. SELECT (▲▼) ボタンを押してカーソルを「サムネイル表示」に合わせ、ENTER ボタンを押す。

サムネイル表示画面に変わります。



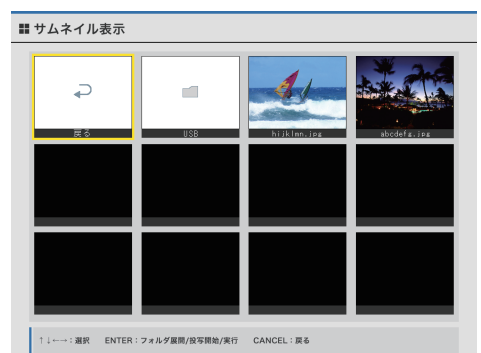
3. SELECT (▲▼◀▶) ボタンを押してカーソル（黄色の枠）を目的のリムーバルメディアに合わせます。

SD メモリカードと USB メモリ双方のリムーバルメディアを、プロジェクト本体に 挿入している場合には、両方のフォルダアイコンが表示されます。



4. ENTER ボタンを押します。

リムーバルメディアの内容が表示されます。



6. Mode Select（投写モードセレクト）画面が表示されます。

SELECT (▲▼) ボタンで選択し ENTER ボタンを押すとスライドが画面に投写されます。

- ・「プレゼンテーション」を選択した場合は SELECT (▲▼◀▶) ボタンにて投写のコントロールが可能です。
操作のしかたは ➡ [23 ページ](#)
- ・「スライドショー」を選択した場合は自動で投写を行います。
- ・プレゼンテーションやスライドショーはビューフ設定の内容にしたがって動作します。
設定のしかたは ➡ [24 ページ](#)



●フォルダの中に子フォルダがある場合

- ・フォルダの中にあるフォルダまたはスライドが一覧表示されます。もう一度 5 ～ 6 の操作を行ってください。
- ・CANCEL ボタンを押すか、画面左上の「戻る」アイコンを選択して、ENTER ボタンを押すと、親フォルダの一覧画面に戻ります。

ディレクトリ表示操作のしかた

1. リモコンの VIEWER ボタンを押してイメージビューフ画面に切り替える。

2. SELECT (▲▼) ボタンを押してカーソルを「ディレクトリ表示」に合わせ、ENTER ボタンを押す。

ディレクトリ表示画面に変わります。

3. SELECT (▲▼) ボタンを押してカーソル (青色) を目的のリムーバブルメディアに合わせます。

SD メモリカードと USB メモリ双方のリムーバブルメディアを、プロジェクト本体に挿入している場合には、両方のフォルダアイコンが表示されます。

4. ENTER ボタンを押します。

リムーバブルメディアの内容が表示されます。

5. SELECT (▲▼) ボタンを押してカーソルを目的のスライドに合わせ ENTER ボタンを押します。

6. Mode Select (投写モードセレクト) 画面が表示されます。

SELECT (▲▼) ボタンで選択し、ENTER ボタンを押すとスライドが画面に投写されます。

・「プレゼンテーション」を選択した場合は SELECT (▲▼◀▶) ボタンにて投写のコントロールが可能です。

操作のしかたは → [23 ページ](#)

・「スライドショー」を選択した場合は自動で投写を行います。

・プレゼンテーションやスライドショーはビューフ設定の内容にしたがって動作します。

設定のしかたは → [24 ページ](#)

●フォルダの中に子フォルダがある場合

・フォルダの中にあるフォルダまたはスライドが一覧表示されます。もう一度 5 ～ 6 の操作を行ってください。



- ・ CANCEL ボタンを押すか、画面最上段の“戻る”アイコンを選択して、ENTER ボタンを押すと、親フォルダの一覧画面に戻ります。

スライドを操作する

「サムネイル表示操作のしかた」および「デレクトリ表示操作のしかた」をご覧ください、スライド画面に切り替えてください。

■スライドの表示について

- **スライドの投写方法**（オプションの設定は➡ 24 ページ）
「プレゼンテーション（手動切換）」と「スライドショー（自動切換）」の 2 種類があります。（投写方法は➡ 21 ページ、22 ページ）
- **表示解像度**
本機の標準画像解像度は XGA（1024 × 768）となります。画像の表示サイズの変更はビューフ設定で変更可能です。
- **スライドの容量**
スライドが破損している場合や表示できない形式のスライドの場合は、が表示されます。
スライドの容量が大きい場合はスライド表示までに時間がかかる場合や表示できないことがあります。

■スライドの移動（プレゼンテーションモード時のみ可能）

SELECT (▲▼◀▶) ボタンでスライドを送ったり戻したりします。

SELECT (▼) または (▶) ボタン…次のスライドに進みます。
SELECT (▲) または (◀) ボタン…前のスライドに戻ります。

お知らせ

本体ボタンの場合

SELECT (▼) ボタン…次のスライドに進みます。
SELECT (▲) ボタン…前のスライドに戻ります。

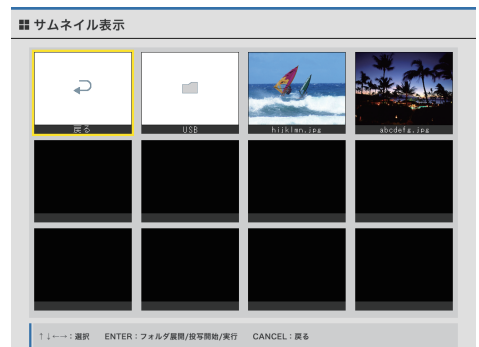


■スライドの終了

CANCEL ボタンまたは ENTER ボタンを押すとイメージビューフ画面に戻ります。

- ・ 他のフォルダや画像を投写する場合は、サムネイル表示またはデレクトリ表示で操作を行います。
- ・ ModeSelect（モードセレクト）画面に戻るには CANCEL ボタンを押すか、または“戻る”アイコンにカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押します。

イメージビューフのサムネイル画面に戻った例



イメージビューフを終了する

本体では SOURCE ボタンを押し、リモコンでは COMPUTER ボタン、VIDEO ボタン、WIRELESS ボタンを押して他の入力を選択してください。

選んだ入力信号に切り替わります。

- ・ イメージビューフを使用中、他の入力を投写して、再びビューフ入力に切り換えるともとの状態で映ります。
- ・ スライドショー投写中、他の入力を投映した場合でも自動再生は行われています。

ビューフ設定のしかた

スライド投写時の動作状態を設定します。

1. モードセレクト (ModeSelect) 画面で「ビューフ設定」を選択します。



2. ENTER ボタンを押してビューフ設定画面を開きます。

3. SELECT (▲▼◀▶) ボタンで項目を選択し ENTER ボタンを押します。

選択した項目の編集が行えます。

4. SELECT (▲▼◀▶) ボタンで編集を行います。

ループ再生機能

スライドを繰り返して再生するか、しないかの設定です。

ループ有り …… フォルダ内のスライドを繰り返して再生します。

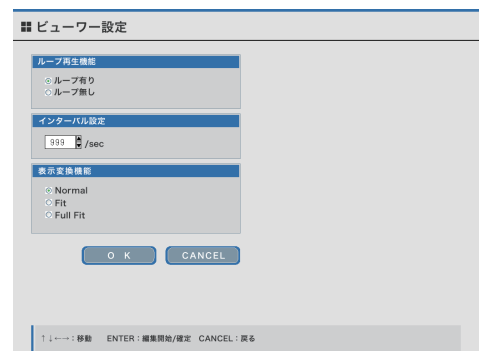
ループ無し …… 最後のスライドで止まります。

インターバル設定

スライドショー投映時の再生間隔の設定です。

SELECT (▲▼◀▶) で再生間隔を設定します。

- ▲ …… 1 秒ずつ秒数が上がります。
- ▼ …… 1 秒ずつ秒数が下がります。
- ◀ …… 10 秒ずつ秒数が下がります。
- ▶ …… 10 秒ずつ秒数が上がります。



次ページに続く

表示変換機能

画面表示における画像の拡大縮小形式を設定します。

- Normal : 元の画像サイズで表示します。画面サイズよりも小さい場合は画面中央に表示。XGA より大きい場合は元画像の中央部分を切り出して表示します。
- Fit : 元画像のアスペクト比を保持して、縦または横を画面サイズに合わせて拡大縮小して表示します。
- Full fit : 元画像のアスペクト比は保持せずに、縦横共に画面サイズに合わせて拡大縮小して表示します。

5. SELECT (▲▼◀▶) ボタンで「OK」ボタンを選択し、ENTER ボタンを押します。

設定前の状態に戻すときは [CANCEL] を選択し、ENTER ボタンを押してください。

ビューワ設定画面が閉じ、ModeSelect (モードセレクト) 画面に戻ります。

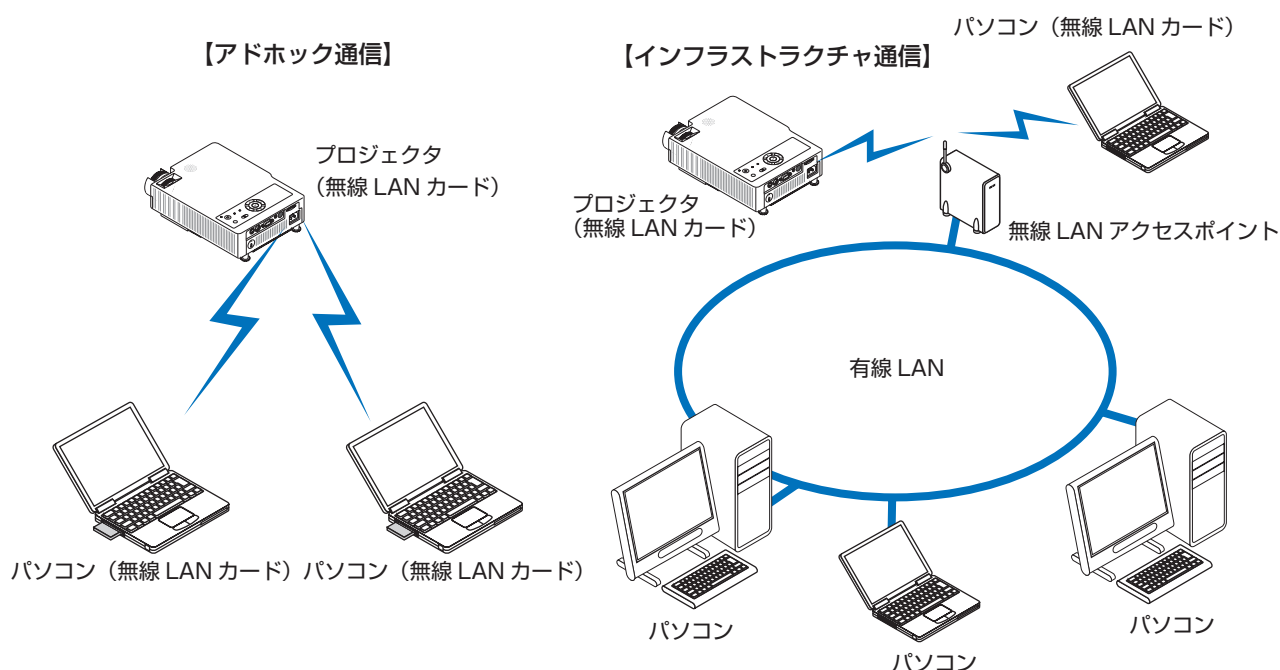


ネットワーク機能を使う

●ネットワークプレゼンテーション機能

無線 LAN 技術を使用し、パソコンで開いているドキュメントの画面をそのままプロジェクタへ無線 LAN で転送して投写する機能で、ケーブルレスにパソコンからプロジェクタへ画像を転送してプレゼンテーションを行うことができます。

また、有線 LAN に無線 LAN アクセスポイントが接続されていれば有線 LAN と接続しているパソコンからもネットワーク経由でプレゼンテーションを行うことができます。



●ネットワーク設定変更機能

無線 LAN などのネットワーク (TCP/IP 対応) に接続したパソコンから Web サーバーを使ってプロジェクタのネットワーク設定を編集する機能です。パソコンでは Internet Explorer などの Web ブラウザを用いてプロジェクタのネットワーク設定変更を行います。

ネットワーク プレゼンテーションの操作手順

■ネットワーク機能をはじめて使うときの設定手順

1 パソコン側の準備

準備 1： プロジェクタとパソコンを無線 LAN で直接通信（アドホック通信）する場合、パソコンには市販品の無線 LAN カード、もしくは無線 LAN 内蔵のパソコンが必要です。

準備 2： 無線 LAN カード（市販品）のインストール手順に従い、ドライバ、ユーティリティソフトのインストールとネットワークの設定を済ませておいてください。
設定のしかたは無線 LAN カードの取扱説明書をご覧ください。

準備 3： プロジェクタに付属の CD-ROM 内の“TAXAN Wireless Presenter”をパソコンにインストールしてください。このソフトはパソコン画面の画像をプロジェクタに送るためのソフトウェアです。→ 10 ページ

準備 4： 上記の準備が終わりましたら、パソコン用の無線 LAN カードをパソコンにセットしてください。

2 プロジェクタに付属の SD 無線 LAN カードをプロジェクタの SD カードスロットにセットする → 14 ページ

3 プロジェクタでネットワーク入力を選択する

本体では SOURCE ボタンを押し、リモコンでは WIRELESS ボタン押してネットワーク入力を選択します。

入力選択の詳細は取扱説明書プロジェクタ編をご覧ください。

プロジェクタの“無線 LAN/ ネットワーク設定”の確認画面が表示されます。

4 プロジェクタ側のネットワーク設定を行う → 28 ページ

5 パソコン側でのプロジェクタと接続のためのネットワーク設定を行う → 32 ページ

■ネットワークプレゼンテーションを行うときの手順

下記の手順は設定済みのプロジェクタおよびパソコンを使用してプレゼンテーションを行う方法です。

1 パソコンの TAXAN Wireless Presenter を起動してプロジェクタと接続する → 37 ページ

2 プロジェクタで映したい資料をパソコンの画面に表示する → 37 ページ

パソコンの画面がそのままプロジェクタから投射されます（ネットワークプレゼンテーション）。

3 終了する → 37 ページ

■ Web ブラウザを使ってプロジェクタの無線 LAN / ネットワーク設定を変更する → 40 ページ

プロジェクト側のネットワーク設定

準備：プロジェクトから無線 LAN / ネットワーク設定の確認画面を投写します。

投写するには……

プロジェクトの電源を入れ、SOURCE ボタン（リモコンでは WIRELESS ボタン）を押してネットワーク入力を選択します。
無線 LAN / ネットワーク設定の確認画面が表示されます。



設定項目	値
ネットワーク設定	
DHCP	☒ 有 ☐ 無
IPアドレス	192.168.1.10
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	8.8.8.8
無線LAN設定	
通信モード	☒ Ad-hoc ☐ Infrastructure
ネットワーク名 (SSID)	Prase Projector
WEP	☒ 有 ☐ 無
WEPキー	123456
通信チャンネル	10
その他	プロジェクト

設定

ENTER : 画面開始

【無線 LAN / ネットワーク設定の確認画面】

工場出荷時の設定状態でプロジェクトとパソコンとを直接、無線 LAN 通信する場合（アドホック通信）は、通常下記の設定は不要です。

※送信画像を暗号化する場合は設定が必要です。

設定画面の項目選択方法と文字入力のしかた

設定内容については、「ネットワーク設定の項目と選択」をご覧ください。

本体またはリモコンの SELECT (▲▼◀▶) ボタンと ENTER ボタンを使って設定します。

1. ENTER ボタンを押します。

無線 LAN / ネットワーク設定画面に変わります。

お知らせ

ネットワークパスワードが設定されている場合、無線 LAN / ネットワーク設定画面を開くことはできません。解除してから行ってください。→ 30 ページ「ネットワークパスワードの登録と解除」
また、一度解除したネットワークパスワードは再度登録しないと、パスワードで保護することはできません。

2. SELECT (▲▼) ボタンを押してカーソルを目的の項目に合わせます。

選択された項目は、入力欄の枠かラジオボタンがハイライトされます。



設定項目	値
ネットワーク設定	
DHCP	☒ 有 ☐ 無
IPアドレス	192.168.1.10
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	8.8.8.8
無線LAN設定	
通信モード	☒ Ad-hoc ☐ Infrastructure
ネットワーク名 (SSID)	Prase Projector
WEP	☒ 有 ☐ 無
WEPキー	123456
通信チャンネル	10
その他	プロジェクト

O K CANCEL DEFAULT

1 : 移動 ENTER : 選択/決定 CANCEL : 戻る

3. 英数字入力をする項目の場合

- ENTER ボタンを押すと文字入力欄の左側にカーソルが表示されます。
- SELECT (◀▶) ボタンで文字を選択し、SELECT (▲▼) ボタンで文字を変更します。
SELECT (▲) ボタンを押すごとに 数字→英大文字→英小文字→記号の順に表示します。目的の文字が出るまで何回も押してください。SELECT (▼) ボタンは逆順に表示します。
- ENTER ボタンを押すと文字入力が確定されます。



設定項目	値
ネットワーク設定	
DHCP	☒ 有 ☐ 無
IPアドレス	192.168.1.10
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	8.8.8.8
無線LAN設定	
通信モード	☒ Ad-hoc ☐ Infrastructure
ネットワーク名 (SSID)	Prase Projector
WEP	☒ 有 ☐ 無
WEPキー	123456
通信チャンネル	10
その他	プロジェクト

O K CANCEL DEFAULT

1 : 移動 ENTER : 選択/決定 CANCEL : 戻る

4. 項目の内容を設定する場合

項目内容に SELECT (◀▶) ボタンでカーソル (点線枠) を合わせ、ENTER ボタンを押します。
ラジオボタンに “●” が移動し設定されます。

無線LAN/ネットワーク設定

	設定項目	値
ネットワーク設定	DHCP	☒ 有 ☐ 無
	IPアドレス	192.168.1.10
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
無線LAN設定	通信モード	☒ Adhoc ☐ Infrastructure
	ネットワーク名 (SSID)	Power Projector
	WEP	☒ なし ☐ 有効化 ☐ 128bit
	WEPキー	12345678
	通信チャンネル	11
その他	プロジェクト名	projector01

OK

CANCEL

DEFAULT

↑ 左: 移動 ENTER: 選択/決定 CANCEL: 戻る

5. 設定を終わる

変更内容に書き換えるには、SELECT (▲▼) ボタンで [OK] にカーソルを合わせ、ENTER ボタンを押します。
無線 LAN / ネットワーク設定の確認画面に戻ります。

各ボタンの動き

- OK ……変更内容を書き換えます。
- DEFAULT …初期設定値 (工場出荷状態) に戻します。
- CANCEL ……変更前の状態に戻します。

無線LAN/ネットワーク設定

	設定項目	値
ネットワーク設定	DHCP	☐ 有 ☒ 無
	IPアドレス	192.168.1.10
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
無線LAN設定	通信モード	☐ Adhoc ☒ Infrastructure
	ネットワーク名 (SSID)	Power Projector
	WEP	☒ なし ☐ 有効化 ☐ 128bit
	WEPキー	12345678
	通信チャンネル	11
その他	プロジェクト名	projector01

設定

ENTER: 画面開始

ネットワーク設定の項目と選択

ネットワーク設定	DHCP	DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを取得するか、指定した IP アドレスを使用するかを選択します。
	IP アドレス	0 ~ 255 までの半角数字をピリオドで区切って指定します。
	サブネットマスク	0 ~ 255 までの半角数字をピリオドで区切って指定します。
	デフォルトゲートウェイ	0 ~ 255 までの半角数字をピリオドで区切って指定します。
無線 LAN 設定	通信モード	機器同士で直接通信 (Adhoc) を行うか、アクセスポイントを使用して通信する (Infrastructure) かを選択します。
	ネットワーク名 (SSID)	ネットワークの識別名を指定します。 半角英数字及び以下の記号で 32 文字まで入力できます。 ! " # \$ % & ' () * + , - . / [\] ^ _ ` { } ~ : ; < > = ? @
	WEP	データを暗号化して通信する場合のキーの長さを選択します。
	WEP キー	64 ビットの場合は 10 文字の 16 進数、128 ビットの場合は 26 文字の 16 進数を指定します。半角数字及び "A" から "F" が使用できます。
	通信チャンネル	通信チャンネルを選択します。
その他	プロジェクト名	プロジェクトの名称を半角英数字及び以下の記号で 255 文字まで指定できます。 ! " # \$ % & ' () * + , - . / [\] ^ _ ` { } ~ : ; < > = ? @

【ご注意】

プロジェクトでネットワークパスワードが有効な場合は、設定できません。

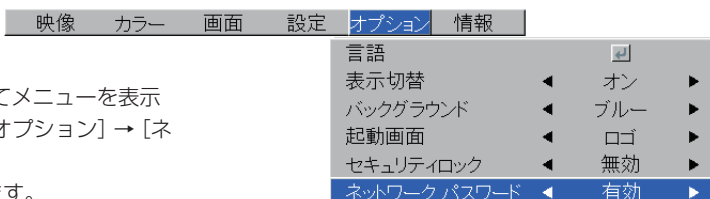
ネットワークパスワードの登録と解除

プロジェクトのネットワーク設定を他人に変更されないようにするためにパスワードで保護することができます。

ネットワークパスワードを登録すると無線 LAN / ネットワーク設定画面を開くときにパスワードの入力が必要になります。また、パスワードを解除するときも必要になりますので、忘れないようにメモしてください。

■ネットワークパスワードの登録

1. オンスクリーンメニューでプロジェクトの「ネットワークパスワード」を「有効」に設定します。



- ① 本体またはリモコンの MENU ボタンを押してメニューを表示させ、SELECT (▲▼◀▶) ボタンを使って [オプション] → [ネットワークパスワード] の項目を選択します。
- ② SELECT (◀▶) ボタンで「有効」を選択します。
- ③ ネットワーク設定パスワード画面を表示します。

3. リモコンの 4 つのボタンを使って登録します。 ボタンの組み合わせで必ず 4 桁入力してください。

入力（登録）に使用するボタン

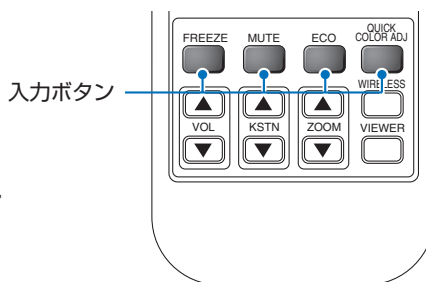
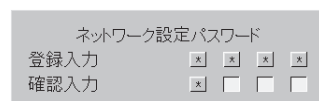
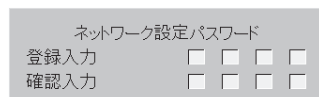
FREEZE、MUTE、ECO、QUICK COLOR ADJ

次のように左のボタンから数字に置き換えると覚えやすくなります（以下の説明では数字といたします）。

- FREEZE ボタン 「1」
- MUTE ボタン 「2」
- ECO ボタン 「3」
- QUICK COLOR ADJ ボタン 「4」

- ・ ボタンを押すごとに「*」が表示されます。
- ・ 4 桁入力後、確認入力をします。
もう一度同じ数字を入力します。登録する数字と同じであればパスワード確認入力に「*」が付きます。間違いがあると「*」が消えます。

正しければ、ネットワーク設定パスワード表示が閉じます。



お知らせ

- ・ 入力を取り消す場合は、CANCEL ボタンを押してください。
「*」が消えて 1 桁目の入力待機に戻ります。
- ・ ネットワークパスワード登録をやめるにはもう一度 CANCEL ボタンを押してください。[ネットワーク設定パスワード] 表示が閉じます。

これでネットワークパスワードの登録が終わりました。

■ネットワークパスワード解除のしかた

- ① オンスクリーンメニューでプロジェクトの [ネットワークパスワード] を「無効」に設定します。
- ② オンスクリーンメニューが閉じてパスワード入力画面が表示されます。
登録済みのパスワードを入力してください。入力方法は前ページと同じです。



お知らせ
パスワードを変更する場合は、一度パスワードを解除してから、新たにパスワードを登録します。「ネットワークパスワードの登録」
[→ 30 ページ](#)

プロジェクト接続のためのパソコン側の設定

Windows XP と Windows 2000 は設定方法が異なります。

Windows XP は「コンピュータの管理者」権限で行ってください。

Windows 2000 の場合は「Administrators」の権限で行ってください。

Windows XP パソコンのネットワーク設定

準備：

プロジェクトから無線 LAN/ ネットワーク設定画面を投写します。

投写するには ➔ [28 ページ](#)

■ Windows XP の無線 LAN 設定項目を使用する

標準的な Windows XP での無線 LAN 設定の方法で説明しています。

プロジェクト側の無線 LAN/ ネットワーク設定は下記の設定となっています（初期状態）。

通信モード : Adhoc
ネットワーク名（SSID） : projector
通信チャンネル : 10
IP アドレス : 192.168.1.10

これらの設定は、Web ブラウザからの設定またはプロジェクトの本体メニューを使用して変更できます。変更するには ➔ [28 ページ](#)、[40 ページ](#)

1. 管理者権限のあるユーザー * で Windows XP にログオンします。

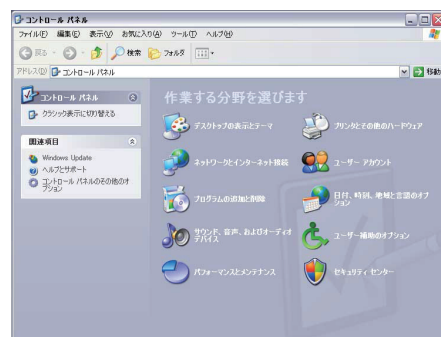
[スタート] メニュー → [コントロールパネル] を開きます。

* 管理者権限のあるユーザーとは、パソコンすべての機能にアクセスできるユーザー権限のことをいいます。

2. [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続] を開きます。



【無線 LAN / ネットワークの設定確認画面】



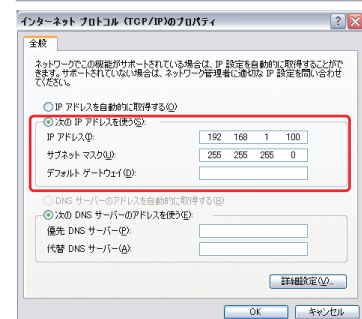
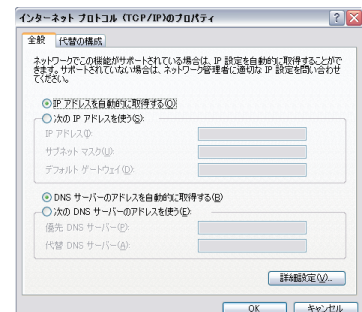
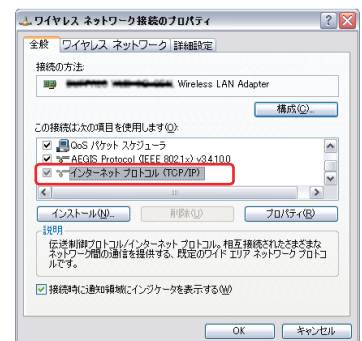
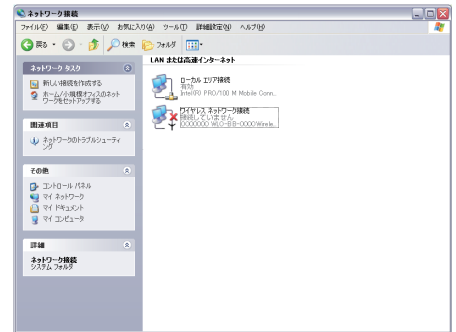
3. 「ネットワーク接続」のウィンドウを開きます。

4. 「ワイヤレスネットワーク接続」を”有効”にし、他のネットワークデバイスは全て”無効”に設定します。

5. 「ワイヤレスネットワーク接続」のプロパティウィンドウを開き、「この機器は次の項目を使用します (O)」から「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択してください。

6. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」のプロパティウィンドウを開きます。

7. パソコンの”IPアドレス”、”サブネットマスク”、”デフォルトゲートウェイ”を設定します。



[IP アドレスについて]

- パソコンに設定する IP アドレスはプロジェクトと同じ IP アドレスに設定しないでください。
(但し、IP アドレスのうちネットワークアドレスを示す部分はプロジェクトと同じに設定してください。)

たとえばプロジェクトの初期設定は次のようになっています。

IP アドレス : 192.168.1.10
サブネットマスク : 255.255.255.0

この場合、パソコンの IP アドレスは次のように設定します。

IP アドレス : 192.168.1.xxx (xxx の部分に 10 進数を入力)
サブネットマスク : 255.255.255.0

他のネットワークデバイスと重複しない 1 ～ 254 の数値を “xxx” 部分に指定します。この場合、プロジェクタの IP アドレスは “192.168.1.10” であるため、パソコンの IP アドレスの xxx 部分には 1 ～ 254 の数値を指定できませんが、10 はプロジェクタで使用しているため使用できません。

- プロジェクタの IP アドレスは、プロジェクタの「無線 LAN/ ネットワーク設定」の画面または、Web ブラウザを使用して変更できます。設定方法は「プロジェクタ側のネットワーク設定」([➡ 28 ページ](#))、「ブラウザを使用した無線 LAN 設定」([➡ 40 ページ](#))をご覧ください。
 - ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合は、プロジェクタの IP アドレスを自動的に割り当てることができます。
 - プロジェクタとパソコンが同じネットワーク上にある場合（ネットワークアドレスが同じ場合）は、デフォルトゲートウェイに何も設定しない場合があります。
- * DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) は、DHCP サーバーから機器に対して、IP アドレスなどの必要なネットワーク設定を行います。DHCP 機能を搭載したサーバーを DHCP サーバーといいます。
- * プロジェクタとパソコンがそれぞれ異なるネットワーク上にある場合は、デフォルトゲートウェイを設定する必要があります。詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

TAXAN Wireless Presenter 操作のしかた

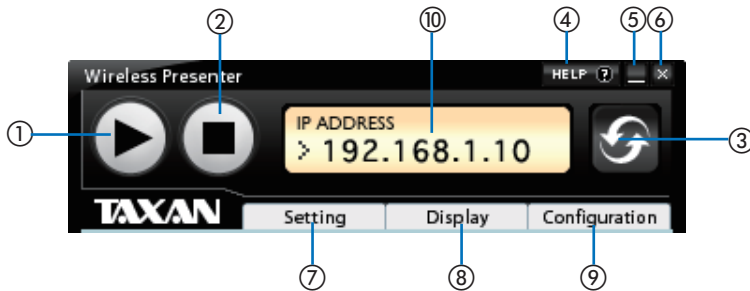
パソコンのスタートメニューから TAXAN Wireless Presenter を起動すると TAXAN Wireless Presenter 画面が表示されます。この画面を使って無線 LAN での転送操作や設定を行います。

TAXAN Wireless Presenter 画面各部の名称とはたらき

TAXAN Wireless Presenter 画面には各種の設定を行う様々な画面があります。

■基本画面

(操作方法に関しては → 37 ページ)



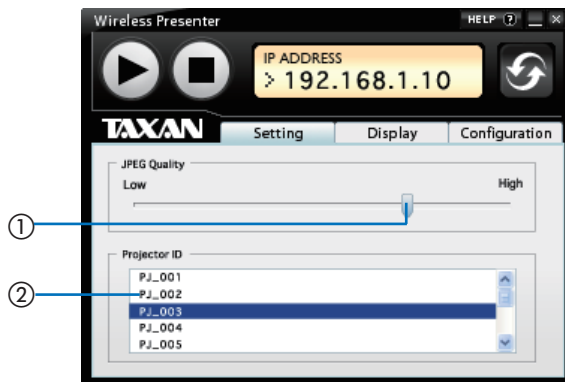
- | | |
|----------------------|---|
| ① “再生” ボタン | : 画像の投写開始ボタンです。 |
| ② “停止” ボタン | : 画像の投写中止ボタンです。 |
| ③ “リフレッシュ” ボタン | : 投写可能プロジェクトリストの更新ボタンです。 |
| ④ ヘルプボタン | : TAXAN Wireless Presenter のヘルプ表示ボタンです。 |
| ⑤ 最小化ボタン | : TAXAN Wireless Presenter の最小化ボタンです。 |
| ⑥ 閉じるボタン | : TAXAN Wireless Presenter の終了ボタンです。 |
| ⑦ “Setting” タブ | : Setting タブの開閉ボタンです。 |
| ⑧ “Display” タブ | : Display タブの開閉ボタンです。 |
| ⑨ “Configuration” タブ | : Configuration タブの開閉ボタンです。 |
| ⑩ IP Address ウィンドウ | : 投写先プロジェクトの IP Address 表示窓です。 |

●タスクトレイのアイコン

TAXAN Wireless Presenter の最小化ボタンを押すとパソコン画面のタスクトレイにアイコンが表示されます。接続時には  が表示され、切断時には  が表示されます。

■ Setting 画面

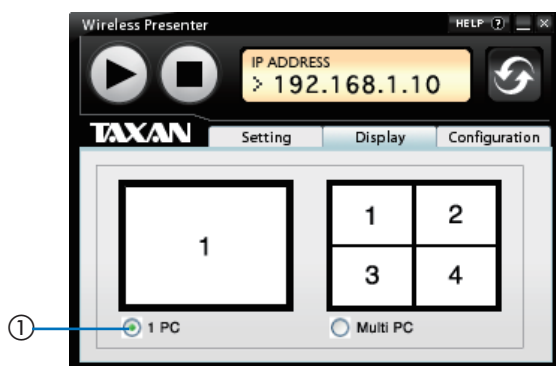
(操作方法に関しては → 38 ページ、37 ページ)



- | | |
|-----------------|-----------------------|
| ① 投写画質設定スライダ | : 投写画像の画質設定スライダです。 |
| ② 投写可能プロジェクトリスト | : 投写が可能なプロジェクトのリストです。 |

■ Display 画面

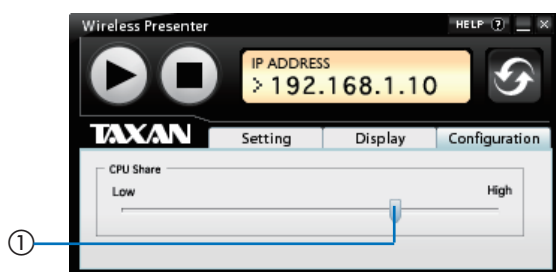
(操作方法に関しては → 38 ページ)



① 投写モード選択ボタン : 投写モードの選択ボタンです。

■ Configuration 画面

(操作方法に関しては → 39 ページ)



① CPU シェア調整スライダ : パソコン上における TAXAN Wireless Presenter の CPU シェア設定スライダです。

ネットワークプレゼンテーションの開始と操作

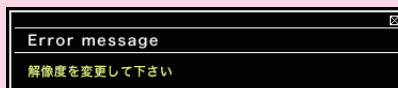
準備 :

1. プレゼンテーションを行う前に、プロジェクタ側とパソコン側のネットワーク設定と TAXAN Wireless Presenter がパソコンにインストールされていることを確認してください。
2. パソコン画面の表示解像度が XGA (1024 × 768) 以下になっていることを確認してください。
パソコンの解像度は VGA、SVGA、XGA がご使用いただけます

(ご注意)

パソコン画面の解像度が XGA (1024 × 768) を超えている場合下図のエラーメッセージが表示されます。

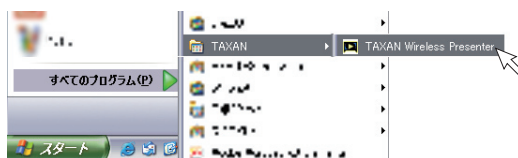
[×] ボタンを押してエラーメッセージを閉じて、画面解像度を XGA に変更してください。



■プレゼンテーションを開始する

1. TAXAN Wireless Presenter を起動します。

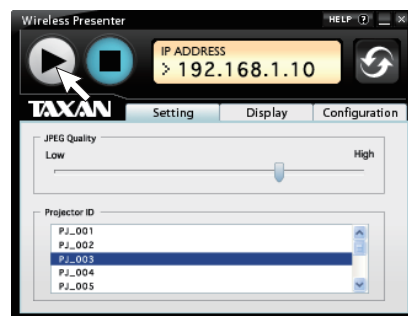
パソコンのスタートメニューから [すべてのプログラム] → [TAXAN] → [TAXAN Wireless Presenter] を選択します。



2. Setting 画面より投写したいプロジェクトを選択し再生ボタン (▶) をクリックします。

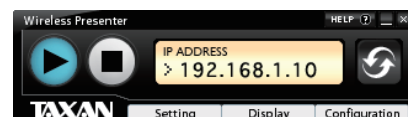
Projector ID リストはアクセス可能なプロジェクトを表示します。

- ・ 目的のプロジェクト ID を表示していない場合は、“リフレッシュ” ボタンをクリックして更新してみてください。



3. Setting 画面を閉じ、パソコン画面の投写を開始します。

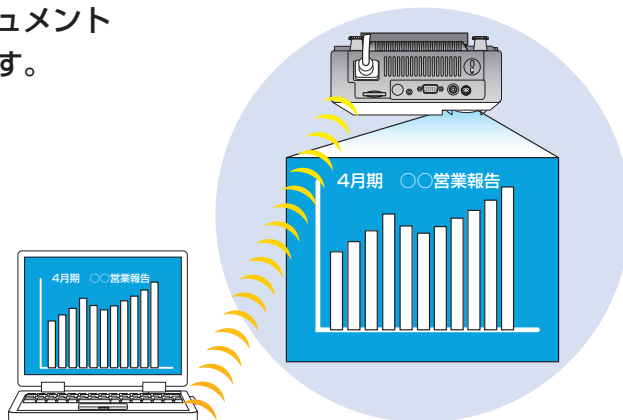
- ・ 基本画面がじゃまな場合は“最小化” ボタンをクリックしてください。開くにはパソコンのタスクトレイの  をクリックします。



4. 投写したいプレゼンテーションのドキュメントを開いてプレゼンテーションを行います。

TAXAN Wireless Presenter の各機能を使用して、プロジェクトへのグループでのプレゼンテーションを行うことができます。

プロジェクトへの転送を一時停止するときは停止ボタン (■) をクリックしてください。再開するには再生ボタン (▶) を押します。



■プレゼンテーションを終了する

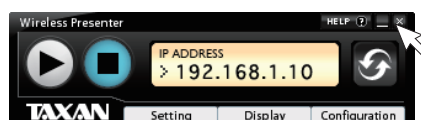
1. 停止ボタン (■) をクリックします。

プロジェクトとのアクセスを切断して接続前の状態に戻ります。



2. [×] をクリックします。

TAXAN Wireless Presenter ソフトウェアを終了します。



TAXAN Wireless Presenter の設定

TAXAN Wireless Presenter には投写をコントロールする機能が搭載されています。「Setting」「Display」「Configuration」各設定により投写の調整が可能です。

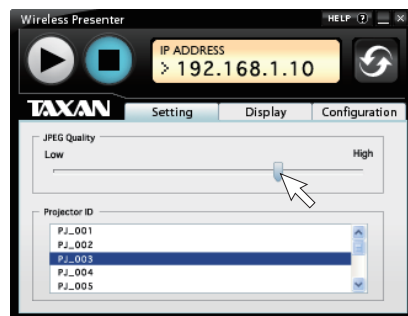
■投写画質を設定する

TAXAN Wireless Presenter はパソコン画面の画像をキャプチャし、JPEG で圧縮したものをプロジェクタに送信します。

Setting タブをクリックして Setting 画面に切り替えます。JPEG Quality のスライダをドラッグして JPEG の圧縮率を設定します。

Low（低画質）： JPEG 圧縮率を高くする。圧縮率を高く設定すると、送信するデータ量が少なくなるため画像の転送速度は上がりますが、画質が低下します。

High（高画質）： JPEG 圧縮率を低くする。圧縮率を低く設定すると、送信するデータ量が多くなるため画面の転送速度が下がりますが、画質が高くなります。



お知らせ

- ・お使いのパソコンによっては安定してお使いできない場合があります。その場合は Low（低画質）側に設定しなおしてください。

■投写するパソコンの台数を設定する

プロジェクタは最大 4 台のパソコン画面を一度に投写することができます。

Display タブをクリックして Display 画面に切り替え、「1PC」または「Muluti PC」のラジオボタンをクリックします。

- 1PC : 1 台のみで投写するモードです。
Muluti PC : 2 台～ 4 台で投写するモードです。

●複数台投写の際の画面順位

複数台での投写を行った場合、台数により以下の順番および位置で投写されます。

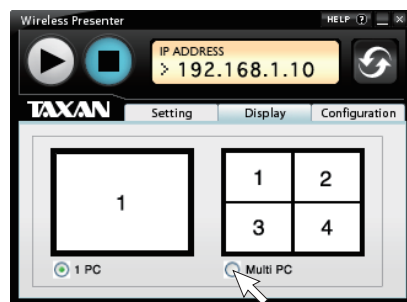
※画面の数字は接続順を示します。



お知らせ

複数台のパソコン接続の際の画面表示について

- ・1PC と Muluti PC の切り替えは、後に切り替えたパソコンの設定が優先されます。複数台投写のときいつでも 1 画面と複数画面の切り替えができます。



■ TAXAN Wireless Presenter の CPU シェアを設定する

Configuration タグをクリックして Configuration 画面に切り替えます。

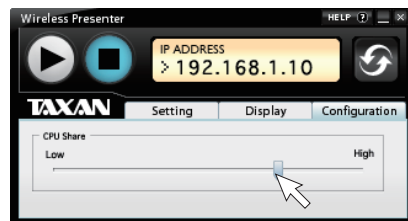
スライダをドラッグして、TAXAN Wireless Presenter の CPU 使用率を設定します。

Low (CPU シェアが低い) :

TAXAN Wireless Presenter 以外のアプリケーションが CPU リソースを大幅に使用する場合は CPU シェアを低く設定してください。CPU シェアを低くするとキャプチャ頻度が低下するため、動作速度が低下します。(頻繁に表示画面を変更する場合には不適切です)

High (CPU シェアが高い) :

TAXAN Wireless Presenter が CPU リソースを大幅に使用する場合は CPU シェアを高く設定してください。CPU シェアを高くするとキャプチャ頻度は上がりますが、他のアプリケーションの動作速度が低下します。



ブラウザを使用した無線 LAN 設定

無線 LAN に接続したパソコンから Web サーバー機能を使って同じネットワークに接続されているプロジェクトの無線 LAN/ ネットワーク設定を編集する機能です。パソコンは Internet Explorer などの Web ブラウザ(閲覧ソフト)を用いてプロジェクトの無線 LAN/ ネットワーク設定を行います。

【ご注意】

Web ブラウザの設定でプロキシ※を使わない様に設定してください(設定方法はご使用のブラウザのヘルプをご覧ください。)

※プロキシとは代理という意味で、使用しているパソコンの代わりにインターネットに接続する代理サーバーのことです。-

プロジェクトと Web 接続をする

1. パソコンの Web ブラウザ (Internet Explorer など) を立ち上げます。

2. アドレス欄にプロジェクトの IP アドレスを入力します。

IP アドレスはプロジェクトの無線 LAN/ ネットワーク設定画面で表示されている IP アドレスを入力してください。

工場出荷時のアドレスは「192.168.1.10」に設定されていますので http:// の次に IP アドレスを入力してください (www. は入力する必要はありません)。



3. TAXAN Wireless Presenter Configuration Utility を表示します。

入力またはプルダウン一覧から変更します。

[更新] ボタンをクリックすると変更内容が設定されます。

[リセット] ボタンをクリックすると変更はキャンセルされ変更前の設定に戻ります。

TAXAN Wireless Presenter Configuration Utility

項目名	設定値	説明
ネットワーク	IPアドレス: 192.168.1.10	0-255までの数字範囲で指定してください。
	サブネットマスク: 255.255.255.0	0-255までの数字範囲で指定してください。
	デフォルトゲートウェイ: 0.0.0.0	0-255までの数字範囲で指定してください。
通信モード	☒ AD-HOC	無線LANで通信するモード。
	☐ Infrastructure	無線LANで通信するモード。
無線LAN設定	ネットワーク名(WiFi): presenter	ネットワーク名を指定してください。英数字とアンダースコアのみで指定してください。
	SSID: 192.168.1.10	無線LANのSSIDを指定してください。英数字とアンダースコアのみで指定してください。
	セキュリティ: WEP	無線LANのセキュリティを指定してください。WEP/WPA/WPA2/WPA3を選択してください。
	WEPキー: 1234567890	WEPキーを指定してください。128ビットのWEPキーの場合は16文字を指定してください。WPA/WPA2/WPA3の場合は12文字を指定してください。
その他	ブロードキャスト: broadcast	ブロードキャストを指定してください。

■各設定の名称と役割

設定項目		説明
ネットワーク設定	DHCP	DHCP サーバーから自動的に IP アドレスを取得するか、指定した IP アドレスを使用するかを選択します。
	IP アドレス	0 ～ 255 までの半角数字をピリオドで区切って指定します。
	サブネットマスク	0 ～ 255 までの半角数字をピリオドで区切って指定します。
	デフォルトゲートウェイ	0 ～ 255 までの半角数字をピリオドで区切って指定します。
無線 LAN 設定	通信モード	機器同士で直接通信（Adhoc）を行うか、アクセスポイントを使用して通信する（Infrastructure）かを選択します。
	ネットワーク名 (SSID)	ネットワークの識別名を指定します。 半角英数字及び以下の記号で 32 文字まで入力できます。 !"#\$%&'()*+,-./[¥]^_`{ }~:;<>=?@
	WEP	データを暗号化して通信する場合のキーの長さを選択します。
	WEP キー	64 ビットの場合は 10 文字の 16 進数、128 ビットの場合は 26 文字の 16 進数を指定します。半角数字及び "A" から "F" が使用できます。
	通信チャンネル	通信チャンネルを選択します。
その他	プロジェクト名	プロジェクトの名称を半角英数字及び以下の記号で 255 文字まで指定できます。 !"#\$%&'()*+,-./[¥]^_`{ }~:;<>=?@

（ご注意）

プロジェクトでネットワークパスワードが有効な場合は、設定できません。

仕 様

■ 無線 LAN カードの仕様

モデル名	SD-Link 11g
インターフェイス	SD IO 標準規格 Ver. 1.0
チャンネル数	1 ～ 11 ch
転送速度	IEEE802.11g/IEEE802.11b
周波数帯	2.4GHz ISM Band

■ USB インターフェイスの規格

USB インターフェイス	USB 1.1 規格準拠 USB 2.0 対応のデバイスを接続した場合、USB 1.1 の 転送速度（12Mbps）未満になります。 ご注意： USB ハブには対応していません。
--------------	---

トラブルシューティング

トラブル	対処法
投映されない	SD メモリカードから画像を表示するにはプロジェクタ本体の入力選択が Viewer になっていなければなりません。 パソコンの画像をネットワーク機能（TAXAN Wireless Presenter）を使って表示するには ・ プロジェクタ本体の入力選択が WIRELESS になっていなければなりません。 ・ プロジェクタとパソコンのネットワーク設定が適切に設定されていなければなりません。 ・ TAXAN Wireless Presenter ユーティリティが起動しており、IP アドレスが割り振られているネットワーク上のプロジェクタに接続されていなければなりません。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

ネットワークに接続されている機器の IP アドレスを自動的に割り振る機能をいいます。

IEEE802.11

アメリカ電気・電子技術者協会 (Institute of Electrical and Electronics Engineers) の 802.11 委員会が無線 LAN の標準化を進め、国際標準規格で承認された無線 LAN 標準の規格です。

IP アドレス

IP (Internet Protocol) 方式のパソコン (パソコンのネットワーク部) に割り当てられた番地のことです。データをやり取りするには発信先の番地へデータを送り、発信先から発信元にデータを受け取ることになります。このためネットワークでつながっているパソコンには個々の IP アドレスが必要です。

TCP/IP (Transmission control protocol/Internet protocol)

通信データをネットワークを介して確実に送るための通信手順及び制御の方式です。データに TCP ヘッダを加え IP パケットを加えさらに MAC フレームを付加してネットワークにデータを送りだします。受け手側は、相手を確認し逆の手順でデータを取り出します。

USB (Universal Serial Bus)

パソコンとキーボードやマウス、メモリ、プリンタなどの周辺機器を接続するためのシリアルインターフェース規格の 1 つです。パソコンの電源が入った状態で、USB コネクタに機器を差し込めば、すぐに使えるプラグアンドプレイにも対応しています。

WEP (Wired Equivalent Privacy)

無線 LAN 規格 (IEEE802.11) にて規格化されている“暗号化”方式の一つです。WEP を設定することで、無線電波が第三者に傍受されても、暗号を解読しないとデータの中身を判読することができなくなり、また無線 LAN に侵入することもできません。

暗号化 (encryption)

暗号とは、決められた規則に基づいて変換させたデータのことです。このデータを生成する手順を“暗号化”、暗号化されたデータを元に戻す手順を“復号”と呼びます。

暗号化する規則が公開されている場合などでは、規則を知る全員が内容を判読できます。これを避けるには、暗号化するとともに規則を変化させる必要があります。このときに用いられるのが、“暗号鍵”です。暗号鍵を知らなければ、データの暗号化・復号をすることができません。

暗号鍵を用いた暗号化には、“共有鍵暗号方式”と“公開鍵暗号方式”の 2 つがあります。

アドホックモード

2,3 台の無線 LAN 機能のある機器間で直接データのやり取りをする孤立した特別なネットワークモードのことで、1 対 1 の場合はピアツーピア (peer to peer) といいます。

インフラストラクチャモード

無線 LAN アクセスポイントを介して LAN (Local Area Network) と接続して目的の機器とデータのやり取りをするネットワークモードです。

チャンネル

無線 LAN で使用できる無線の帯域を 14 分割もしくは 11 分割したその一つ一つをチャンネルといいます。

無線 LAN

無線 LAN での LAN 接続には、各パソコン等に取り付けられる“無線 LAN カード”と送受信される無線電波の相手側となる“無線 LAN アクセスポイント”から構成されています。

無線 LAN アクセスポイント

インフラストラクチャモードで LAN に接続するための無線 LAN 機器の接続先のことでは有線 LAN というハブ (HUB) に相当します。個々のアクセスポイントには SSID という固有の識別子 (名前) で判別されます。無線 LAN 機器がどのアクセスポイントに接続するかは SSID を使って指定します。

加賀コンポーネント株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷2-2-9 センチュリータワー
www.taxan.co.jp/projector

加賀コンポーネント・プロジェクタ
カスタマーセンター

TEL ☎ 0120-331-059